



ヒダベリイソギンチャク (カナダの写真)
カリフラワーのような姿のイソギンチャクの一種です。大きいものは、大人の腕ほどもあります。

(写真・文 水中カメラマン 佐藤長明さん)

番外編

カナダ・バンクーバーの海

南三陸町のキャラクターといえば、言わずと知れた「クチ坊」ことクチバシカジカです。その愛らしい姿は、日本のみならずカナダの水族館でも人気者です。

8年ほど前に初めてカナダに渡航した際、カナダの市場では牡蠣がブランド別に販売されていました。そして、そのひとつに「MIYAGI」の文字を見つけました。ここ宮城県のDNAを持つ牡蠣が、カナダではブランド牡蠣として取引されているのです。

また、水中でも多くの共通点を観察できます。生き物たちは近縁種が多く、どこか見覚えのある面々ばかりです。もちろん、その中には「クチバシカジカ」も含まれており、海藻も「タマハハキモク」という宮城出身のガラ藻が繁茂しています。

そんな類似点の多いカナダの海に、再チャレンジしてきます！この模様は、3月21日(月)祝日にテレビ朝日系列の「地球の目撃者」で放送されます。ぜひご覧くださいませ。

編集後記

▶息も凍るような寒い朝、ふと表に出てみると、両手にゴミ袋をぶら下げたおじさんが、横断歩道でスッテンコロリン！心配して近づいてみると、季節はずれの丈の短いジャージを履いたおじさんは、ニコッと笑って立ち去って行きました。「変なおじさんだなあ。やっと春が来たか…」きっと、あのとき私と目が合った少年は、そう思ったことでしょう。道端に咲いたタンポポや朝の空気など、春の訪れを感じる瞬間は様々あれど、少年は春を先取りした私の着こなしを見て、それを感じてくれたと思います。そうですね。もう春なんですね。▶春は、卒業の季節とか別れの季節と言われます。進学や就職を目前に控え、お世話になった先輩や大好きなあのひとと別れなければならない人もいるかと思えます。人は、そういう大切な何かとの別れや卒業を経験しながら、一歩ずつ成長していくんですね。そういう私も、広報紙を担当して3年が過ぎようとしています。もう卒業しなければならぬと感じています。そう、町の広報マンとして、サイズの合わないパジャマを着たままゴミ出しに行くのは、卒業しなければならぬと思っています。
担当 加藤

わが家のアイドル



三浦 大征くん

(◎中山)

平成22年6月21日生まれ

パパ 和幸さん

ママ 裕佳里さん

おうちの方より一言

食欲旺盛で、パンがゆとハモのおかゆが大好き！ハイハイもできるようになって、かたときも目が離せません。元気で健康に育ってほしいですね。